

日本木材学会中国・四国支部

第 29 回（2017 年度）研究発表会（広島）の概要

開催した概要は、以下の通りでした。

主催：一般社団法人日本木材学会中国・四国支部

共催：森林バイオマス利用学会、公益社団法人日本木材加工技術協会中国支部

開催日：2017 年 9 月 11 日（月）～12 日（火）

会場：広島工業大学広島校舎

（〒730-0811 広島県広島市中区中島町 5-7）

日本木材学会中国・四国支部

第 29 回（2017 年度）研究発表会（広島）

日程：2017 年 9 月 11 日（月）

9：15～12：00 研究・技術発表（口頭）

12：00～13：00 理事会

13：00～14：00 研究・技術発表（展示発表）

14：30～17：00 公開講演会

18：00～20：00 研究交流会

当日は、日本木材学会会長の福島和彦先生（名古屋大学教授）にご出席を賜り、大変活気のある大会となりました。今回は、口頭発表 11 件、展示発表 9 件で、昨年より 14 件少ない発表でしたが、活発な討議が行われました。

優秀な発表には、「研究発表賞」が授与されました。

公開講演会では、堀川保幸 氏（中国木材㈱代表取締役会長）から「変化に対応する中国木材」、山中 洋 氏（㈱マルニ木工常務取締役）から「世界を魅了する HIROSHIMA」と題して、ご講演いただきました。

堀川氏からは「木材工業は物流」だとのこと自身の哲学から国内における新工場の建設・戦略および近い将来の 20 万戸到来を見据えた海外展開の強化など積極的な経営方針をご講演いただきました。輸出産業の活性化が日本の山を育てるとの考えは次世代の林業・林産業の方向を考える上で大変参考になると感じました。続いて山中氏のご講演では、同社の人気家具「HIROSHIMA」の開発過程をご紹介いただきました。旧来の考え方・やり方の全見直し、デザイナー

との協働、「工芸の工業化」が同社を成功に導いたとの内容でした。両講演ともに今後の木材工業の活性化および発展を図る上で、大変示唆に富むものでした。

また、来年の第30回大会は、高知県で開催されることが決定しました。

翌日は森林バイオマス利用セミナーを、森林バイオマス利用学会と共催しました。セミナーの日程は以下の通りでした。

森林バイオマス利用学会総会・セミナー

日 程：2017（平成29）年9月12日（火）

8：30 森林バイオマス利用学会総会

9：30 森林バイオマス利用セミナー出発

10：20（株）マルニ木工見学

11：50 見学終了

12：20 昼食（広島工業大学五日市キャンパス）

13：00 出発

14：00 中国木材株式会社見学

15：25 見学終了



展示発表会場



（株）マルニ木工



チェア「HIROSHIMA」木枠



中国木材株式会社



木質バイオマスボイラー